

2012年2月7日

社団法人全国高等学校PTA連合会 株式会社リクルート 合同調査
「第5回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2011」より

保護者にとっての重要な情報は、
「入試制度」から「進学費用」「卒業後の進路」へ

社団法人全国高等学校PTA連合会

会長 相川順子

進路対策委員会委員長 正木毅

株式会社リクルート 進学カンパニー長 田中浩嗣

社団法人全国高等学校PTA連合会(所在地:東京都千代田区 会長:相川順子)と株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO:柏木 斉)は、高校2年生とその保護者に対し、進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探る調査を実施いたしました。ここに集計結果がまとめられましたので、抜粋してご報告いたします。

- ◆保護者にとって進路検討で重要だと思う情報トップ5は、「進学費用」(52.3%)、「将来の職業との関連」(51.9%)、「入試制度」(42.7%)、「学部学科の内容」(38.6%)、「就職の状況」(38.6%)。【P3】
- ◆保護者が(子ども)の進学にあたって重視する情報は、2009年時トップであった「入試制度」が10ポイント下げ(52.7%→42.7%)3位となり、1位が「進学費用」(49.1%→52.3%)、2位が「将来の職業との関連」(46.5%→51.9%)に入れ替わった。【P3】
- ◆進学に関する価値観は、保護者は「国公立」や「地元」重視、高校生は「家計が心配」、いずれも経済的な関心が高い。【P4】
 - ・保護者が高校生より10ポイント以上多かった(※)のは、「できるだけ国公立の学校に進学してほしい(したい)」(10.4%)、「できるだけ地元の学校に進学してほしい(したい)」(11.7%)。
 - ・高校生が保護者より10ポイント以上多かった(※)のは、「家計が心配なのでできるだけお金の負担をかけない進学をしたい(してほしい)」(11.1ポイント差)(※保護者高校生それぞれ上位10項目比較)。
 - ・進学についての価値観で、高校生が最も多く共感するのは「自分のやりたいことができる学校に進学したい」(92.9%)。保護者は「本人の個性や能力を生かせる学校に進学してほしい」(93.4%)。
- ◆子どもへの進路選択のアドバイスが「難しい」と感じる保護者は、2009年時と変わらず約7割。【P6】
 - ・子どもへのアドバイスが難しいと感じる要因は2009年時から引き続き「社会がどのようになっていくか予測がつかないから」がトップ(60.8%)。
- ◆進路を考える時、「自分がどうなってしまうか不安」な高校生が約半数(47.6%)。「可能性が広がるようで楽しい」は27.2%。「可能性が広がるようで楽しい」割合は、保護者とよく話している高校生ほど、高い傾向。【P7】
 - ・「自分の可能性が広がるようで楽しい」について、保護者と進路について話す頻度別にみると、よく話をする(44.6%)>たまに話をする(25.9%)>あまり話さない(19.0%)>まったく話さない(13.1%)の順。

データ転載の際には、「(社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ」と明記していただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php

【調査概要】

■調査目的

一 高校生をもつ保護者とその子どもにおける進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探り、進路に関する保護者と子どものコミュニケーションや進路サポートのあり方を考えるための資料とする

■調査主管

一 社団法人全国高等学校PTA連合会
一 株式会社リクルート 進学カンパニー

■調査方法

一 学校通しの質問紙による自記式調査
一 高校生 ホームルーム時にアンケート実施
一 保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡しで依頼、実施
クラスごとに学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収

■調査対象

一 高校生(2年生)とその保護者
一 社団法人全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高校27校
※各都道府県:3校(普通科2校・専門学科もしくは総合学科1校)
※各校:2年生2クラスの生徒とその保護者)

実施年	調査対象校所在地
2011年	北海道 青森県 茨城県 東京都 新潟県 愛知県 大阪府 鳥取県 佐賀県
2009年	北海道 山形県 埼玉県 東京都 石川県 三重県 京都府 愛媛県 鹿児島県
2007年	北海道 宮城県 栃木県 東京都 新潟県 静岡県 大阪府 香川県 福岡県

※時系列データは毎年調査対象校が変わるため参考

■調査期間

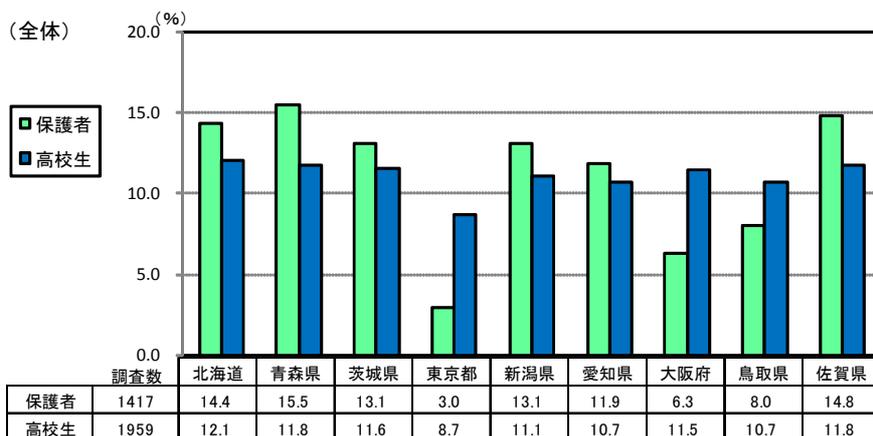
2011年9月20日(火)～10月31日(月)回収終了

■有効回答数

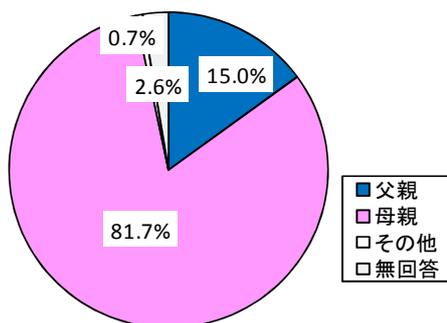
	保護者	高校生
2011年	1,417	1,959
2009年	1,495	1,953
2007年	1,541	1,802

【回答プロフィール】

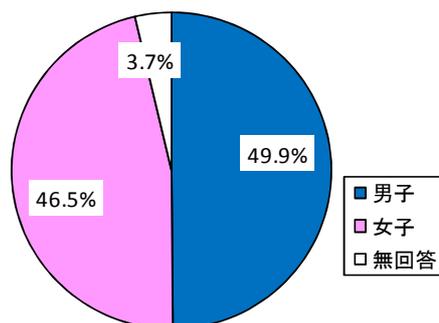
■調査対象校所在地 (全体)



■続柄 <保護者> (全体/単一回答)



■性別 <高校生> (全体/単一回答)



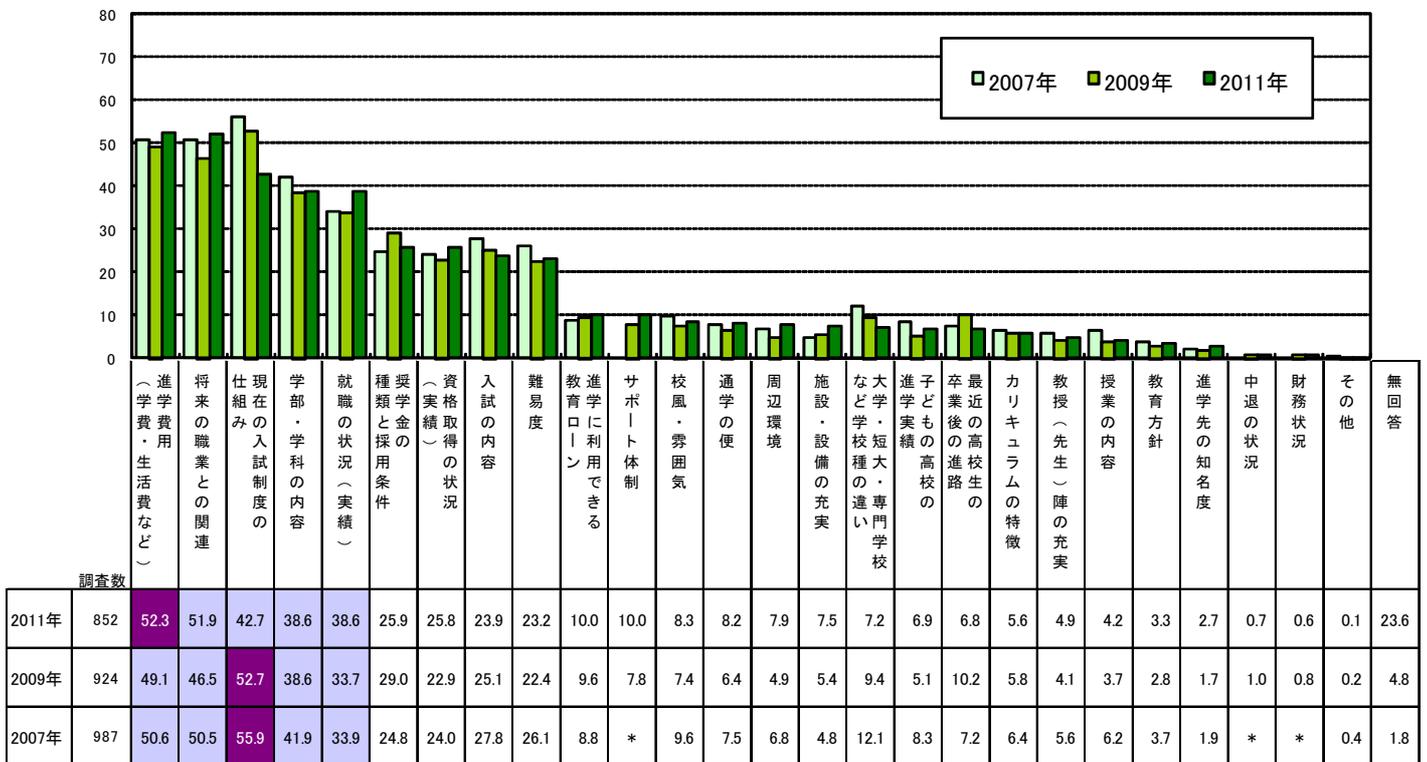
【(保護者) 進路検討にあたって重要だと思う情報】

◆保護者にとって進路検討で重要だと思う情報トップ5は、「進学費用」(52.3%)、「将来の職業との関連」(51.9%)、「入試制度」(42.7%)、「学部・学科の内容」(38.6%)、「就職の状況」(38.6%)。

◆保護者が(子ども)の進学にあたって重視する情報は、2009年時トップであった「入試制度」が10ポイント下げ(52.7%→42.7%)3位となり、1位が「進学費用」(49.1%→52.3%)、2位が「将来の職業との関連」(46.5%→51.9%)に入れ替わった。

・「奨学金」や「資格取得の状況」についても、ほぼ4人に1人の保護者が重要という認識。

■【保護者】 重要な進学情報 (進学希望者/5項目まで回答)



※「2011年」降順ソート
※「*」は該当カテゴリーなし

100.0 各年で最も高い
100.0 各年で2~5番目に高い

【(保護者) (高校生) 進学についての価値観の違い】

◆最も多くの保護者が子どもの進学に期待するのは「本人の個性や能力を生かせる学校に進学してほしい」(93.4%)。高校生は「自分のやりたいことができる学校に進学したい」(92.9%)。

・保護者の「進学についての価値観」で最も多いのは「本人の個性や能力を生かせる学校に進学してほしい」(93.4%)、次いで「自分のやりたいことができる学校に進学してほしい」(92.4%)、「社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校に進学してほしい」(80.9%)。

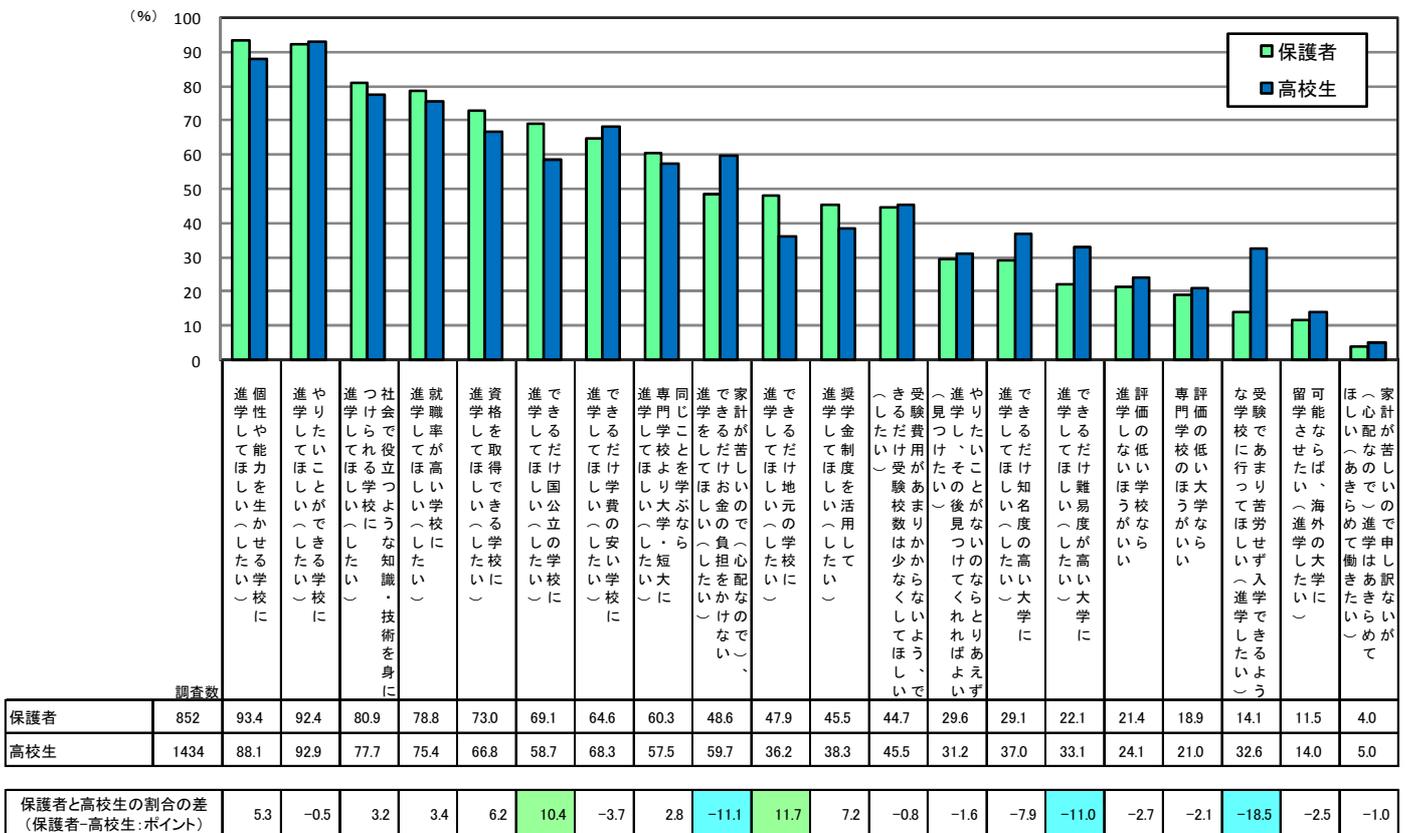
・高校生の「進学についての価値観」で最も多いのは「自分のやりたいことができる学校に進学したい」(92.9%)、次いで「自分の個性や能力を生かせる学校に進学したい」(88.1%)、「社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校に進学したい」(77.7%)。

また、「できるだけ難易度が高い大学に進学したい」高校生が33.1%いる一方で、「受験であまり苦労せずに入学できるような学校に進学したい」高校生が32.6%。

◆保護者は「国公立」と「地元進学」重視、高校生は「家計が心配」。

・回答率が高いものの中で、保護者が高校生より10ポイント以上大きいのは、「できるだけ国公立の学校に進学してほしい」(10.4ポイント差)、「できるだけ地元の学校に進学してほしい」(11.7ポイント差)。高校生が保護者より10ポイント以上大きいのは、「家計が心配なのでできるだけお金の負担をかけない進学をしたい」(11.1ポイント差)。

■ 【保護者・高校生】 進学に関する価値観 (進学希望者/各単一回答) とともそう思う、まあそう思う・計



※「保護者」降順ソート

※各項目カッコ内は高校生への質問

100.0 高校生より保護者が10ポイント以上高い

100.0 保護者より高校生が10ポイント以上高い

【(保護者)(高校生) 進路について話す頻度】

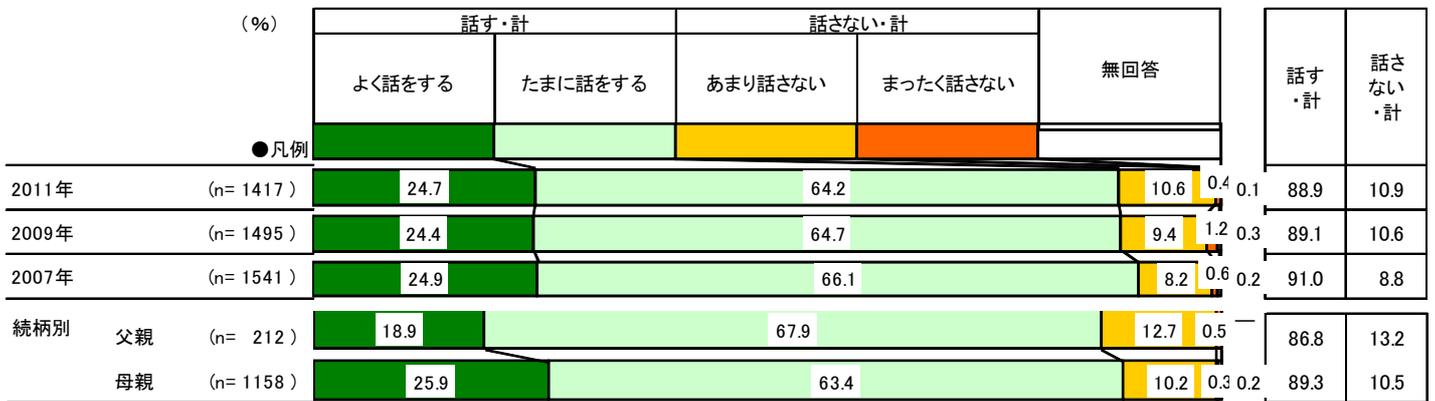
◆保護者の88.9%、高校生の74.9%が進路について「話す」と回答。

◆保護者のほうが「話している」認識があり、保護者と高校生の認識ギャップは14ポイント。

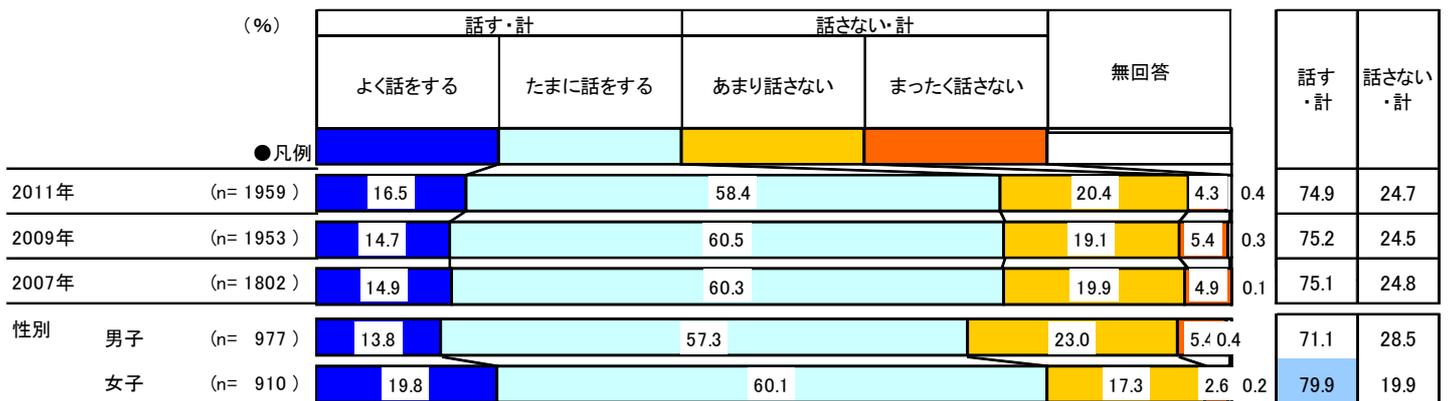
・保護者に対し、進路についての話を子どもとしているかをきいたところ、「よく話をする」が24.7%、「たまに話をする」が64.2%(話す・計88.9%)。この比率は2007年、2009年時とほとんど変わらず。続柄別では、母親(25.9%)のほうが、父親(18.9%)よりもよく話をしている。

・高校生は「よく話をする」が16.5%、「たまに話をする」が58.4%(話す・計74.9%)。この比率も2007年、2009年時とほぼ変わらず。男女別では、女子(19.8%)のほうが、男子(13.8%)よりもよく話をしており、「よく話をする」「たまに話をする」計でも女子が79.9%、男子は71.1%と女子のほうが会話が活発な様子。

■【保護者】 進路についての話を子どもとしているか (全体/単一回答)



■【高校生】 進路についての話を保護者としているか (全体/単一回答)



100.0 「2011年」全体より5ポイント以上高い

【(保護者) 進路選択のアドバイスについて】

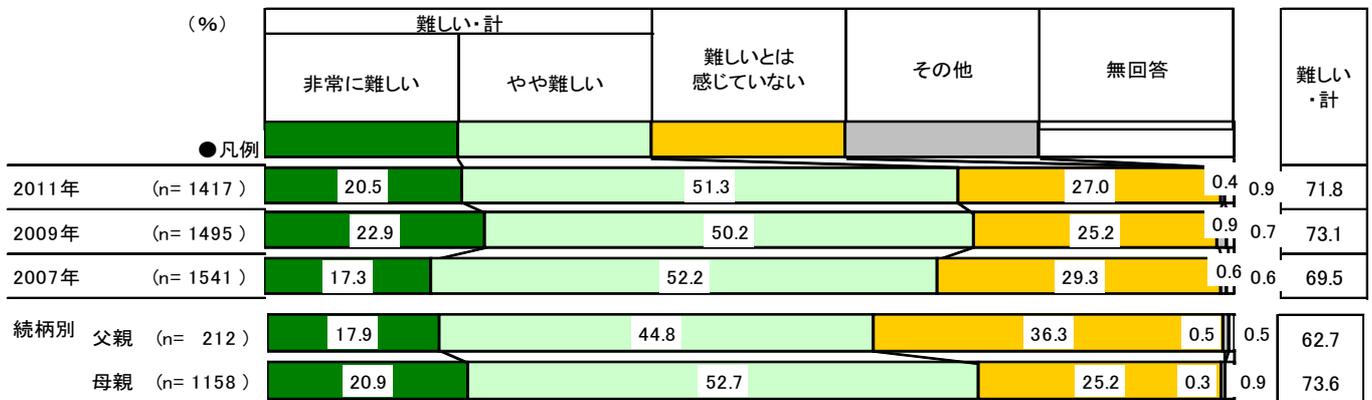
◆子どもへの進路選択のアドバイスが「難しい」と感じる保護者は、2009年時とほぼ変わらず約7割。

◆子どもへのアドバイスが難しいと感じる要因は2009年時から引き続き「社会がどのように変わっていくのか予測がつかないから」がトップ(60.8%)。

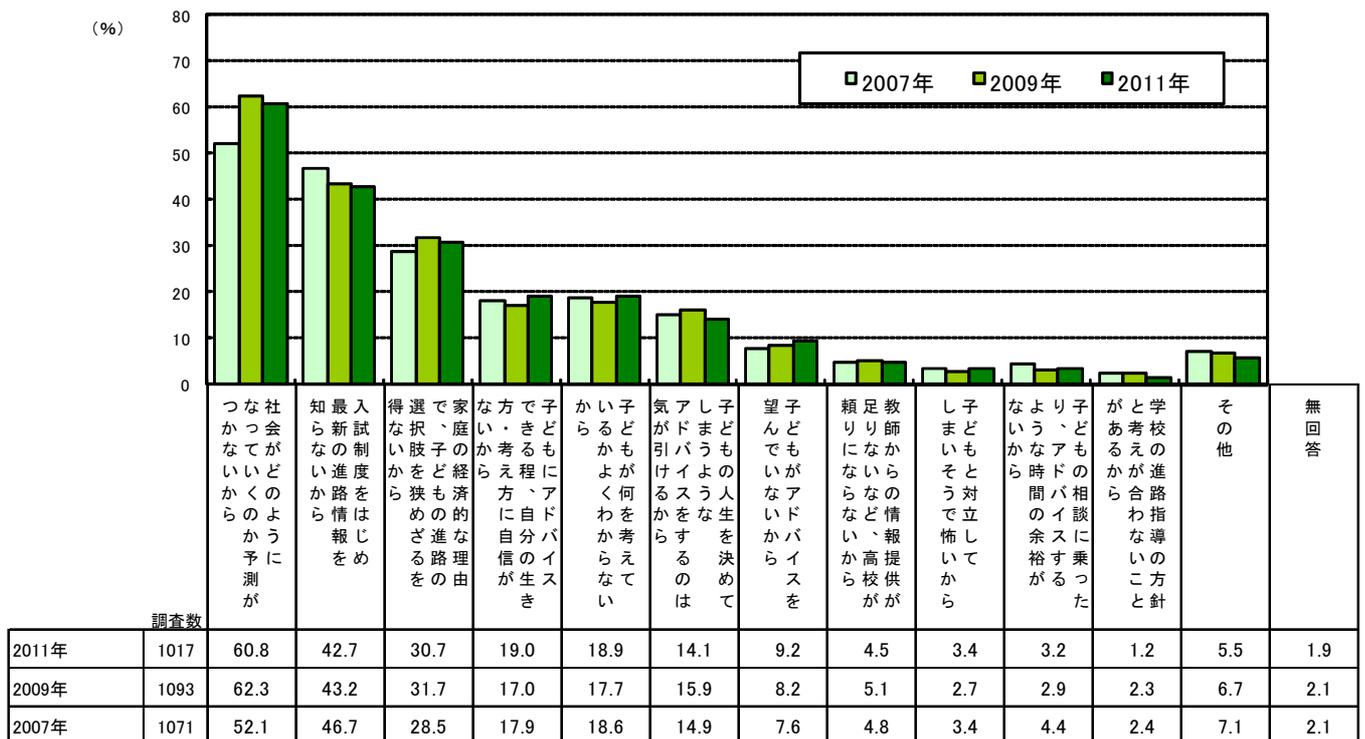
・子どもの進路選択についてのアドバイスが「難しい」と感じている保護者は7割を超え、2009年時からほぼ横ばい。続柄別では、母親(73.6%)のほうが、父親(62.7%)よりも「難しい」と感じている。

・子どもへのアドバイスが難しいと感じる要因は「社会がどのように変わっていくのか予測がつかないから」が2009年時と変わらずトップ(60.8%)。次いで、「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」(42.7%)。

■ 【保護者】 進路選択について子どもにアドバイスすることは難しいか (全体/単一回答)



■ 【保護者】 進路選択についてアドバイスが難しいと感じる要因 (アドバイスが難しい/複数回答)



※「2011年」降順ソート

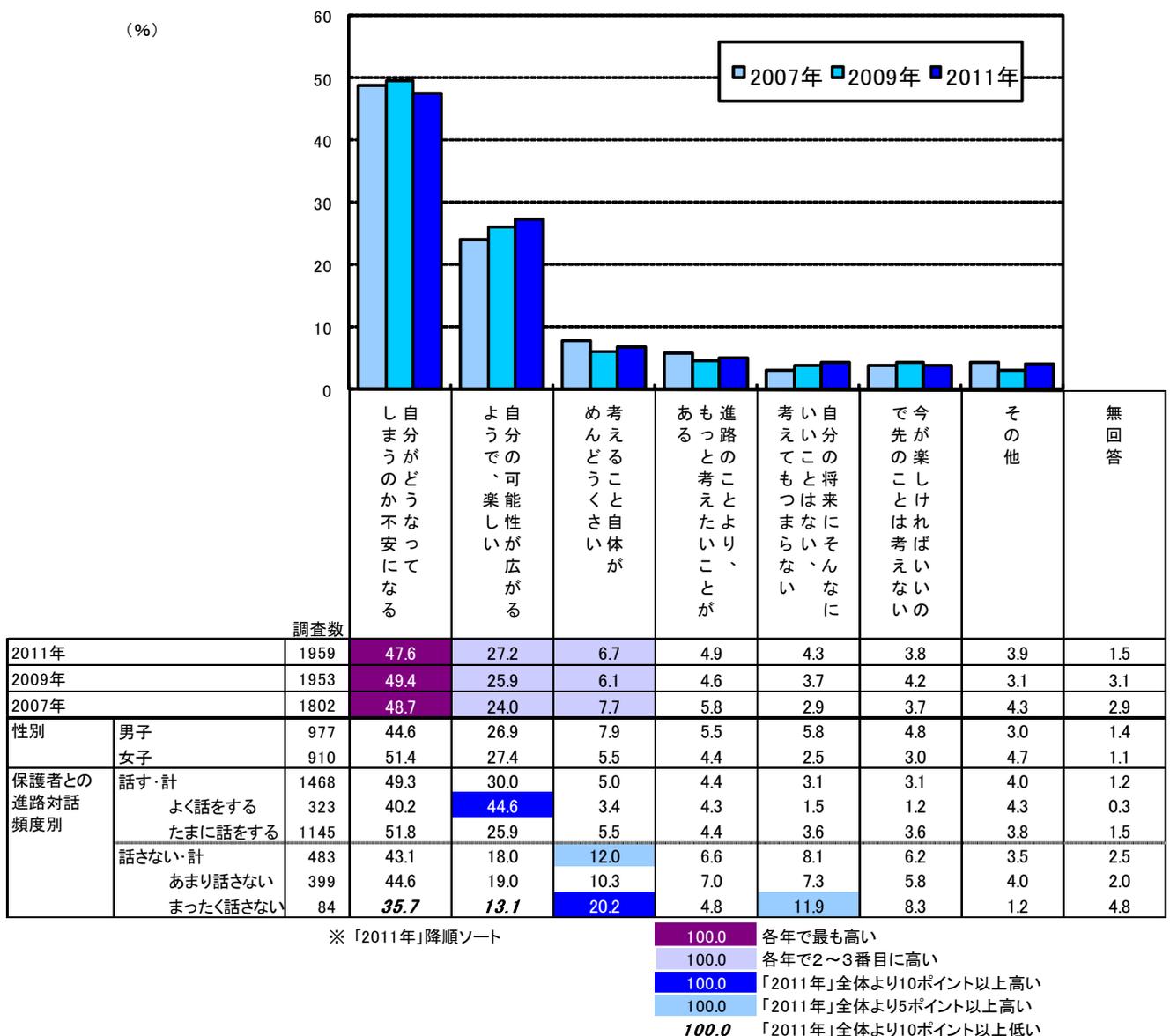
【(高校生) 進路を考える時の気持ち】

◆保護者とよく話している高校生ほど、進路を考える時に「楽しい」割合が高い。

・進路を考える時の気持ちは「自分がどうになってしまうのか不安になる」がトップ(47.6%)。次いで、「自分の可能性が広がるようで楽しい」(27.2%)。

・「自分の可能性が広がるようで楽しい」について、保護者と進路について話す頻度別にみると、よく話をする(44.6%)>たまに話をする(25.9%)>あまり話さない(19.0%)>まったく話さない(13.1%)の順。

■【高校生】進路を考える時、どんな気持ちになるか (全体/単一回答)



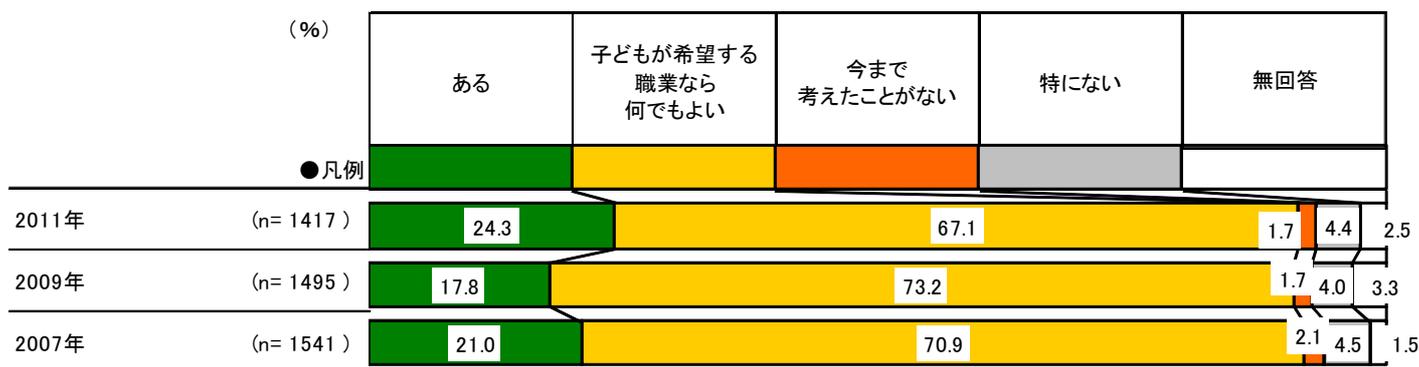
<参考> 【(保護者)(高校生) 将来就いてほしい職業/就きたい職業】

◆保護者の約7割が「子どもが希望する職業なら何でもよい」。

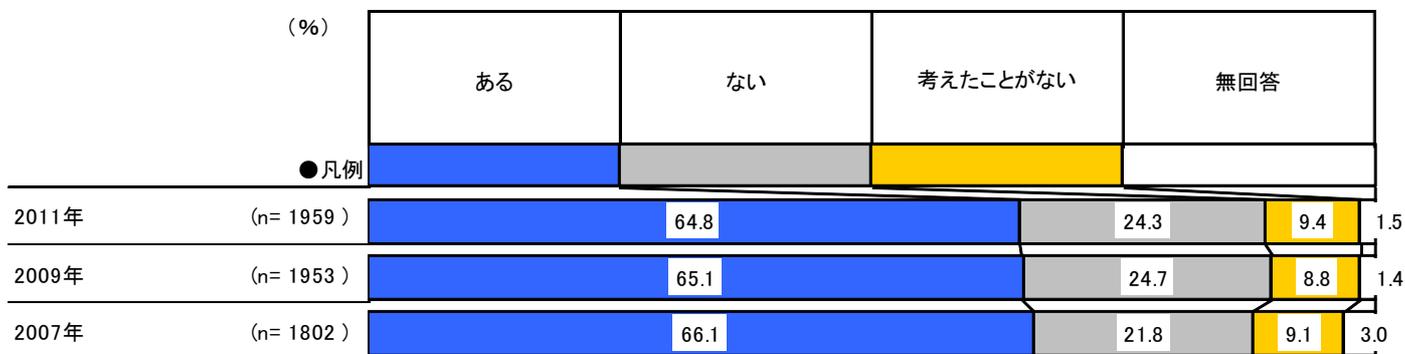
・保護者に対し、子どもに就いてほしい職業があるかをきいたところ、67.1%が「子どもが希望する職業なら何でもよい」と回答。

◆将来就きたい職業がある高校生は64.8%。

■ 【保護者】 将来、子どもに就いてほしい職業はあるか (全体/単一回答)



■ 【高校生】 将来、就きたい職業はあるか (全体/単一回答)



<参考> 【(保護者)(高校生) 将来就いてほしい職業/就きたい職業】 上位5位

【大学・短大進学希望】

■保護者 (大学・短大進学希望 就いてほしい職業がある/単一回答)

n=182		
前回順位	職業	(%)
1位	(1位) 公務員(国家・地方)	31.3
2位	(3位) 看護師	9.9
3位	(2位) 教師	9.3
4位	(14位) 医師・歯科医師・獣医	8.2
5位	(5位) 保育士・幼稚園教諭	7.1

■高校生(大学・短大進学希望 就きたい職業がある/単一回答)

n=709		
前回順位	職業	(%)
1位	(2位) 公務員(国家・地方)	11.0
2位	(1位) 教師	10.9
3位	(3位) 保育士・幼稚園教諭	8.9
4位	(13位) 医師・歯科医師・獣医	6.2
5位	(4位) 技術者・研究者	6.1

【専門学校進学希望】

■保護者 (専門学校進学希望 就いてほしい職業がある/単一回答)

n=56		
前回順位	職業	(%)
1位	(1位) 看護師	39.3
2位	(2位) 公務員(国家・地方)	14.3
3位	(4位) 理学療法士・作業療法士	8.9
	(7位) 社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	8.9
5位	(3位) 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	5.4
	(5位) 事務	5.4

■高校生(専門学校進学希望 就きたい職業がある/単一回答)

n=280		
前回順位	職業	(%)
1位	(1位) 看護師	14.3
2位	(2位) 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	9.3
3位	(5位) 俳優・タレント・ミュージシャン・声優	7.9
4位	(3位) 美容師・理容師	5.7
5位	(12位) 社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	5.4

【就職希望】

■保護者 (就職希望 就いてほしい職業がある/単一回答)

n=59		
前回順位	職業	(%)
1位	(1位) 公務員(国家・地方)	40.7
2位	(2位) 製造・加工・組立などのモノづくり	13.6
	(5位) 事務	13.6
4位	(3位) 社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	6.8
5位	- 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	5.1

■高校生(就職希望 就きたい職業がある/単一回答)

n=241		
前回順位	職業	(%)
1位	(2位) 公務員(国家・地方)	16.6
2位	(1位) 製造・加工・組立などのモノづくり	12.0
3位	(5位) 事務	9.5
4位	(4位) 販売(ショップの店員など)	5.0
	(11位) 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	5.0